

令和8年度 学校経営計画について

八小のスローガン

「みんなの笑顔があふれる学校」

みんなとは、子ども、教職員、保護者・地域である。その3者が笑顔（幸せ）になれる学校をつくっていききたい。【三方よし】そのために、コミュニティ・スクール組織のもと、「安心」「信頼」「成長」「元気」をキーワードとして、学校・保護者・地域がより密に連携を図っていく。

めざす児童像（学校教育目標）

- よく考える子
- ◎思いやりのある子（重点目標）
- じょうぶな子
- 進んでやる子

めざす学校像（コミュニティ・スクール組織活用による充実）

- 【安心】一人一人の居場所と心身の安全・安心がある学校
- 【信頼】保護者・地域と協力し、信頼される学校
- 【成長】互いに高め合い、喜びや達成感を抱ける学校
- 【元気】エネルギーに満ちた活力ある学校

【安心】一人一人の居場所と心身の安全・安心がある学校

取組目標

- ・人権教育、生命尊重教育の推進
- ・温かな人間関係の構築（特別支援教育の視点に基づいた学年学級経営）
- ・組織のないじめ、不登校、虐待防止と早期対応
- ・実践的な安全教育の推進と実効性のある防災計画・危機管理マニュアルの策定

具体的方策

- ・児童一人一人が大切にされる学級づくり
- ・教職員研修の充実（人権、児童理解、いじめ・虐待防止、不登校対応）
- ・基本的生活習慣の確立 ⇒ 明るく挨拶、正しい言葉遣い
- ・「特別の教科 道徳」の充実 ・縦割り班活動（絆タイム） ・個に応じた不登校対応
- ・特別支援教育と教育相談の充実 ・月ごとの安全点検と安全指導

【信頼】保護者・地域と協力し、信頼される学校

取組目標

- ・コミュニティ・スクール組織の活性化と地域社会に開かれた学校づくり
- ・学校、保護者、地域の協働による教育活動の推進
- ・学校運営や教育活動の積極的な公開と情報発信
- ・児童、保護者、地域、教職員による学校評価の工夫と評価を生かした学校改善

具体的方策

- ・持続可能なCS組織の構築 ・皆が集える学校づくり（おとなの国分寺学、しゃべり場）
- ・「コミュニティ・スクール」組織による地域人材や環境等を活用した「体験的活動」の充実
- ・積極的な学校公開、情報発信 ・教育活動を支えるボランティア（体力テスト、持久走記録会、ふれあいコンサート、読書旬間読み聞かせ、学習支援サポーター）



【成長】互いに認め合い、喜びや達成感を抱ける学校

取組目標

- ・主体的・対話的で深い学びによる思考力、判断力、表現力の育成
- ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- ・自分に合った学び方による学習習慣と学習規律の確立
- ・個に応じた指導による確かな学力の定着
- ・地域人材や教材を生かした体験学習（国分寺学）の充実
- ・言語活動の充実

具体的方策

- ・校内研究、OJT 研修の充実
- ・国分寺学（ハケの学習、地域伝統料理、防災、祭り）
- ・少人数習熟度別学習の充実
- ・タブレット端末の積極的活用（GIGAタイム）
- ・読書指導（読書旬間、学校図書館の利活用）
- ・「八小学習スタンダード」の家庭との共有

【元気】エネルギーに満ちた活力ある学校

取組目標

- ・体力向上、食育指導、生活習慣の改善等、保護者や地域と協働した健康教育の推進
- ・体力、運動能力調査に基づく体育科の授業改善と運動や遊びの日常化
- ・健康に留意し、明るく元気に達成感ややりがいを感じることができる教育活動の推進

具体的方策

- ・運動量の保障された体育学習
- ・休み時間の外遊びの励行
- ・持久走月間、縄跳び週間
- ・児童の興味を高める食育指導
- ・薬物乱用防止教室
- ・ノーメディアデー
- ・学校保健委員会
- ・養護教諭による保健指導
- ・給食試食会

【学校経営と組織体制】

- ・教職員が職層に応じた役割を果たす組織を活用した学校運営
- ・「報告」「連絡」「相談」の徹底と課題への組織的対応
- ・教職員の人権感覚の向上、服務規律の徹底
- ・計画的な OJT 研修や若手教員研修による教職員の指導力、授業力の向上
- ・校内環境整備、環境美化
- ・学校予算の適切な計画と執行
- ・スクールメールや八小ブログ、まなびポケットを活用したタイムリーな情報発信
- ・教職員のライフワークバランスを考慮した働き方改革の推進